

略 歴 書

(公表用)

| | |
|-----------------|---|
| (ふりがな) 氏 名 | (わかばやし こうすけ) 若 林 宏 輔 |
| 学歴・取得学位 | 2005年3月 立命館大学文学部卒業 2007年3月 立命館大学大学院文学研究科博士前期課程 修了 2013年3月 立命館大学大学院文学研究科博士後期課程 修了 博士(文学) |
| 職歴 | 2013年4月 立命館大学グローバル・イノベーション研究機構 専門研究員 2014年4月 立命館大学文学部 助教 2015年4月 立命館大学文学部 准教授 2016年4月 立命館大学総合心理学部 准教授 現在に至る |
| 業績 | <p>(著書、論文、判例評釈・翻訳等)</p> <p>【著書】若林宏輔(2016). 法心理学への応用社会心理学アプローチ ナカニシヤ出版.</p> <p>【著書】サトウタツヤ・若林宏輔・指宿信・松本克美・廣井亮一(2020). 法と心理学への招待 有斐閣.</p> <p>【論文】森井花音・若林宏輔・仲真紀子(2022). 録画された会話の観察時の視点が評価に与える影響—日常会話におけるカメラ・パースペクティブ・バイアス 法と心理, 22, 82-87.</p> <p>【論文】若林宏輔(2022). 法律実務家のための心理学入門 第21回 科学鑑定 of 誤りと心理学的バイアス(2), 季刊刑事弁護, 112, 153-156.</p> <p>(講演・口頭発表等、学会・社会活動)</p> <p>【講演】若林宏輔, 「取調録音・録画の心理学的問題点、その対策について」, 福島地方裁判所刑事鑑定研究会, 2017年12月20日.</p> <p>【講演】若林宏輔, 「取調録音・録画の心理学的問題点、その対策について」, 高松高等裁判所・刑事鑑定研究会, 2018年10月15日.</p> <p>【口頭発表等】若林宏輔(2022) 企画・司会「法学・経済学・心理学からみる司法取引」法と心理学会第23回大会, 千葉大学, 2022年10月23日</p> <p>【学会・社会活動】 法と心理学会常任理事(2021~)</p> <p>(実務実績 [取扱業務等])</p> <p>※ ご所属の法律事務所での取扱業務をお書き下さい。</p> |
| プロフィール (URL) | https://research-db.ritsumei.ac.jp/rithp/k03/resid/S000838 |